

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

愛知みずほ大学は、ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)に基づき、「豊かで活力ある健康 社会に貢献する人」を育成するため、以下のようにカリキュラムを編成し、実施します。

1. カリキュラムは、「未来デザイン講座(探す)」「未来をひらく基礎科目」「未来を創る実践力 形成科目」「専門科目」「教職に関する科目」から構成され、授業科目を体系的かつ系統的に配置しています。また、豊かで活力ある健康社会に貢献する人を育成するために、「養護・保健」「健康スポーツ」「心理・カウンセリング」「人間科学」の4つのコースを設け、履修モデルを示します。
2. 卒業時に身につける能力は、基礎から専門へと段階を踏んだ積み上げによって獲得されます。
 - ・「未来デザイン講座(探す)」において学びの道筋をつかみ、「未来をひらく基礎科目」において人間および社会を理解し、健康について考え、「未来を創る実践力形成科目」において豊かな人間性と健康な社会人として生きるための基本的技能を修得します。また、少人数に分かれたアクティブラーニングにより、適切な自己管理能力と、社会の一員として地域や家庭の健康に貢献できる基本的な素養を身につけます。
 - ・「専門科目」は、共通専門基礎領域を基盤として、「健康・保健学領域」と「心理学領域」の履修を通して所属するコースの専門知識・技能を修得し、それぞれが目指す目標(教職を含む)を達成できるようにします。その知識・技能、態度を総合的に活用して、健康な社会の実現に必要とされる課題探究力と実践力を身につけます。個々の科目と学位授与の方針に掲げられた各能力との関係を、カリキュラム・チェックリストに明示します。
3. 履修する科目の意義は、科目の目指すところ(知る／理解する／応用・展開する)と授業科目間のつながり(順次性や系統性)を示すナンバリングやカリキュラム・ツリーによりの確に知り、科目選択や学修に役立てることができます。
4. コースの専門性を担保するために、コースごとに必修科目を設けています。また、学生一人ひとりの思いや志向を学びに反映できるように、学科共通選択科目を設けて科目選択の自由度を確保しています。

5. セメスター制(2学期制)を基本としていますが、学修目標を達成しやすくするために、短 期間で集中的に学ぶクォーター制(4学期制)を併用します。
6. 学生がカリキュラムを通して丁寧に学び、着実に学修成果を上げることができるよう、チ ューターが学生一人ひとりを支援します。さらに多様な専門性を持った学修コンシェルジュが 目標達成を支援します。
7. 4年間の学修成果は、ルーブリックなどの指標により、いつでも経過を確認できます